

地域とともに協同の輪を



2012年は国際協同組合年です P.1

高知の生協の活動紹介

- 「地域見守り活動」 こうち生活協同組合 P.2
- 「地域でいのちの絆をさらに強める」 高知医療生活協同組合 P.2
- 「土佐町での稲刈り&森林間伐体験」 生活協同組合コープ自然派こうち P.3
- 「世界の子もたちのために〜ユニセフチャリティ絵画展」 高知県学校生活協同組合 P.3
- 「生協の名に恥じないよりよい介護を」 高知県庁消費生活協同組合 P.4
- 「地域の人の憩いの場となっていくことを目指して」 高知県高齢者福祉生活協同組合 P.4
- 「大学・地域の中で力を合わせて学生をはぐくむ」 高知大学生協同組合 P.5
- 「生協のネットワークによる災害支援と災害対策」 高知県生活協同組合連合会 P.5

生協について P.6

高知県内の会員生協の概況 P.6



ごあいさつ

改めまして、2011年3月11日に発生した東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。私たち生協の仲間は、震災発生以来、支援活動を進める中で、生協人としての使命感・絆の大切さを心から実感しております。しかし、被害はあまりにも甚大であり、これからも支援を続ける必要があります。そして、高知県に確実にくる南海大地震に対しての覚悟をする必要があります。

暮らしを取り巻く環境は、内外ともに景気回復の手ごたえは感じられず、不況が続いています。また、エネルギー問題、地球温暖化、食料問題、TPP問題、雇用問題、医療福祉年金問題、教育問題——等、暮らしの危機がより切実になっています。こうした状況の下で、協同への期待はますます大きくなっています。

おりしも、国連総会は、2012年を国際協同組合年とすることを決定しました。私たち高知県生協連は、今年創立53周年を迎えます。現在、11の会員生協で組合員数26万人にまで協同の輪を広げてきました。地域コミュニティの確かな担い手になっています。一緒に未来を創っていきましょう。

2012年1月

高知県生活協同組合連合会
代表理事会長 宮本正気

高知県生活協同組合連合会の概況

■名称 高知県生活協同組合連合会

■活動概要

高知県においてさまざまな分野で活動する生協が、生協運動の発展を図るために自主的に連帯した連合会です。生協間および生協と行政や他団体等と間での連帯の場づくり、会員生協間の連絡と調整、情報伝達、広報・渉外を行っています。

■創立 1959年1月17日

■代表者 代表理事会長 宮本正気

■所在地 高知市薊野中町16番8号

■連絡先 電話 088(846)3663 FAX 088(846)3664

■Webサイト <http://kochikenren-coop.jp/>

■会員数 11会員

■会員生協からの出資金 1,744千円（2010年度末実績）

■会員生協の組合員数の合計 のべ263,701人（2010年度末実績）

■会員生協の事業高の合計 14,812百万円（2010年度実績）

2012年は国際協同組合年(IYC)です

「協同組合がよりよい社会を築きます」

“Co-operative enterprises build a better world”

2010年11月にニューヨークの国連本部で決められた英語によるIYCのスローガン



2012国際協同組合年のロゴは、国際年のスローガン「協同組合がよりよい社会を築きます」に基づき、7名の人が協力して立方体を持ち上げ支えている様子を描いています。立方体は、協同組合の事業が目指す様々なゴール・志や、それらの事業が果たしうる成果を表現しています。性別を特定しない人々は、協同組合モデルの中心となる人々（People）を表し、7人という数は、協同組合運動の7原則を示しています。この7原則とはすなわち、自発的で開かれた組合員制、組合員による民主的管理、組合員の経済的参加、自治と自立、教育・訓練および広報、協同組合間協同、コミュニティへの関与です。

国連が2012年を「国際協同組合年」とすることを宣言

国連は、2009年12月の総会で、2012年を国際協同組合年（International Year of Co-operative = IYC）とすることを宣言しました。これは社会経済的発展への協同組合の貢献が国際的に認められた証で、特に協同組合が貧困削減・仕事の創出・社会的統合に果たす役割が着目されています。

国連総会は、この宣言の中で、国際連合とその全加盟国、関係者に対し、この国際年を契機として協同組合を推進し、協同組合が社会経済開発に果たしている役割に関する社会の認知度を高めるよう求めています。また、各国政府に対して、持続可能な開発や貧困の根絶、都市と農村の様々な経済主体の生計に貢献する事業体としての協同組合の成長を促すことや、協同組合に関する法的行政的規制を見直し、適切な税制措置や市場へのアクセス等において、協同組合が他の企業や社会的事業体と同様の活動を行える条件を整備することにより、急速に変化する社会経済環境における協同組合の成長と持続可能性を高めるように求めています。

IYCの目的

- 1** 協同組合についての社会的認知度を高める…協同組合の貢献・協同組合の世界的ネットワーク・コミュニティ構築や平和への取組などについて知ってもらう
- 2** 協同組合の設立や発展を促進する
- 3** 協同組合の設立や発展につながる政策を定めるよう政府や関係機関に働きかける

日本国内でも、2010年8月に、各種の協同組合をはじめとして、協同組合の活動に期待する団体・個人が連帯し、「2012国際協同組合年全国実行委員会」が発足しました。協同組合の価値や、協同組合の果たしている役割等について、広く国民に認知され、協同組合をさらに発展させるべく、取り組みを進めています。

国際協同組合デー高知県集会

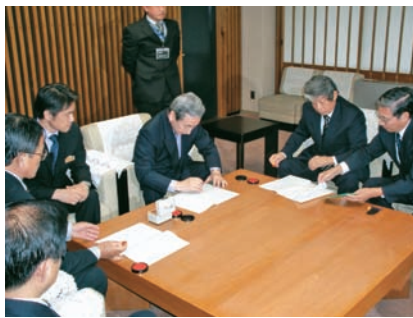
毎年7月の第1土曜日は、「国際協同組合デー」です。高知県内でも、毎年その時期に、高知県生活協同組合連合会、JAグループ高知、高知県漁業協同組合連合会、高知県森林組合連合会の主催により、「国際協同組合デー高知県集会」を開催しています。協同組合運動に携わる人々が一堂に集い、協同組合の価値と役割を再確認するとともに、平和とよりよい生活の実現をめざして運動の前進を誓います。



2011年7月に開催された国際協同組合デー高知県集会

地域見守り活動

ご高齢の方や子どもさんなど住民の安全に対して異変を察知したときに速やかに地域の民生委員児童委員協議会に連絡通報するという「地



協定書調印式

域の見守り活動」について、2007年10月に高知県、高知県民生委員児童委員協議会連合会、民間事業者(こうち生協を含む5社)との3者間で「高知県における地域の見守り活動に関する協定」が結ばれ、安心して暮せる地域づくりを目指して、相互に協力しています。

また、この活動を広く知ってもらおうと、2009年11月にロゴマークが採用されました。こうち生協では、2010年4月から約100台ある配送トラックの後部に「地域見守り活動を行っています」と記されたこのロゴマーク入りのステッカーを貼り、配送しています。

こうち生活協同組合

いつも商品を取りに来られるのに、その日に限って来られない方がいて、お宅まで様子を見に行ったところ倒れておられ、すぐに救急車を呼んだということも配送中にありました。住み慣れた町で、安心して暮せる地域づくりに向けて、これからも「見守り活動」に協力していきます。



ロゴマーク



ステッカーを貼った配送車の出発式

地域でいのちの絆をさらに強める

高知医療生協は2010年10月に、高知県民生委員児童委員協議会連合会と高知県との間で「地域の見守り活動に関する協定」を締結し、全県下でその具体化を図る取り組みを進めています。

高知市にある朝倉みなみ・きた支部では、日頃支部で気にかけていた組合員さんが昨年自宅で亡くなっていたこともあり、高齢者の孤独死や児童の虐待などを地域全体で防いでいきたいと話合っていました。そのためには医療生協だけではなく地域の民生委員さんとも連携を強めていきたいと考えていました。そこで地域の民生委員の役員さんに連絡をとり早速懇談を行うことができ、定例会にも参加してもらい、地域で気になる方への見守りを今後、ともに協力していくこととしています。

香美支部は旧物部村を有する香美市で活動しています。高齢化率55%という限界集落になりつつある物部地区は、一人暮らしの高齢者が増え、地域での絆が急速に希薄化している地域です。まさに「いのちの大運動」に取り組む医療生協の活動が求められている地域でした。

高知医療生活協同組合

そこで香美支部の役員が山間に点在する高齢者の家々を訪問し、この間2か所で医療生協の班をつくることができました。班会では月一回集ってもらい、互いの健康を確認しながらいつも傍らに仲間がいることを実感してもらっています。

物部だけではなく、県内には至る所同じような地域が増えていきます。このような医療生協の活動が全県で広がり、地域で暮らす人達の命と暮らしを守る活動の一助になればと考えています。



班会の前に移動販売車を利用する物部地区の組合員さん

土佐町での稲刈り&森林間伐体験

コープ自然派こうちでは、土佐町の方々と生協取扱商品を通じて様々な活動に取り組んできています。土佐町の低農薬米「吉野川源流米」は、コープ自然派こうちを含む四国や関西の10生協が参加するコープ自然派事業連合に供給されており、環境を考えた米作りをする生産者を支えるための年間予約登録制度などもあります。また、コープ自然派事業連合では2007年2月14日より高知県、土佐町、土佐町下地藏寺部落との間でパートナーズ協定を締結し「環境先進企業との協働の森づくり事業」として間伐体験や山桜の植樹を行うことにより森林の再生と土佐町の地域のみなさんとの交流となる取り組みを進めており、毎年秋に開催している「源流米稲刈り&コープ自然派の森林間伐ツアー in 土佐町」には、2011年度も大人23名、子ども11名が参加しました。



チェーンソーとノコギリで間伐体験。木が倒れる度にあちこちで歓声があがっていました。

環境先進企業との協働の森づくり事業」として間伐体験や山桜の植樹を行うことにより森林の再生と土佐町の地域のみなさんとの交流となる取り組みを進めており、毎年秋に開催している「源流米稲刈り&コープ自然派の森林間伐ツアー in 土佐町」には、2011年度も大人23名、子ども11名が参加しました。

生活協同組合コープ自然派こうち

《参加した組合員さんの感想》

初日にまず源流米の棚田の水源へ行き、透き通った川と澄んだ空気の自然を堪能したあと、棚田の風景を見に行きました。稲刈り間近の棚田は見渡す限り黄金色に輝いて、言葉を失うほどの美しさでした。夕食は「土佐あかうし」のバーベキューで、赤身のおいしさを噛みしめながらお腹いっぱいいただきました。

翌日は、地元の方が作ってくださった色とりどりの愛情と野菜たっぷりのおかずと炊き立ての源流米での朝ごはんをいただきました。間伐体験では、県職員の方や地元の方の指導のもとで、直径20～30センチくらいのヒノキを間伐していきました。昼食は土佐町の町並みや棚田が一望できる山の頂上へ移動し、竹筒に入った郷土寿司と竹筒で作ったコップでいただいた温かいお茶が空腹を満たしてくれ、充実した2日間を締めくくってくれました。



地元の方の協力で餅つきも楽しみました。

世界の子どもたちのために～ユニセフチャリティ絵画展

高知県学校生協では、2005年度より年間定例の文化祭事として『ユニセフチャリティ絵画展』を開催しています。目的としては、組合員の方々はもちろん、広く県民の皆様にご案内し、鑑賞、購入も含め一流の絵画や版画、掛軸に親んでもらうこと。また、供給利益の一部をユニセフ募金とし、世界の子どもたちの生存と成長のために役立てています。

過去6回の開催では、国内外より著名な作家を招聘し、サイン会や作家との交流を通じて、より内容の深いものとなっていると自負しております。ご来場の方からは、「美術館では聞けない丁寧な説明をしてもらい、とっても楽しかった」「作家本人に気さくに作品のことを聞いて良かった。画家ご本人と直接はなしができる機会はとっても良い経験」「絵なんて購入したことがなかったが、素敵な作品と出会うことができ、これから毎日が楽しみです」など、喜びのお声を多くいただいています。

会期は3日間と短期間ですが、平均800名以上の方

高知県学校生活協同組合

のご来場があり、大勢の方に楽しんでいただいています。2011年度も2012年2月3日(金)～5日(日)に『高知市文化プラザかるぼーと』で開催する予定です。たくさんの方々に楽しんでいただけたらと思っています。



ユニセフチャリティ絵画展の会場の様子



招待画家による
岡崎高知市長表敬訪問

生協の名に恥じないよりよい介護を

高知県庁消費生活協同組合

高知県庁生協では2006年から介護福祉事業を立ち上げました。「超高齢社会」や「老々介護」などの社会問題が深刻さを増す中、組合員の暮らしを守る生協として、家庭での介護を必要とする組合員やその家族のお役に立ちたいという視点でスタートしました。相互扶助は生活協同組合の基本理念であり、介護福祉事業を通じて、この理念の実践をめざしています。当初組合員以外の方の利用が多かったのですが、現在では組合員の利用も拡大しています。

高知市稲荷町にある高知県庁生協介護福祉センターでは、現在、高知市、南国市、土佐市、いの町をサービス提供地域として、介護支援専門員（ケアマネジャー）による介護に関する相談・介護計画を作成する居宅介護支援事業と、訪問介護員（ヘルパー）による訪問介護事業を行っています。介護に関する相談受付、地域のサービス提携事業者等への連絡調整などはサービス提供地域以外で暮らす組合員にも対応しています。組合員にとってはいつも利用している生協ということで、身近な相談窓口となっています。事務所を活用した地域貢献の一つとして「いきいき百歳体操」も定期的を開催しており、健康増進と介護支援の相談等、交流の場として地域の方か

ら好評を得ています。

利用者からは「生協がやっているから安心」「名前に県庁がついているからきちんとしているはず」というような信頼と期待が感じられます。地域の中での「生協」に対する信頼は、県庁生協を含む様々な生協のこれまでの実績により築かれてきたものであり、「生協」のネームバリューに恥じないような、よりよい介護を実現しなければならないと考えています。コンプライアンスにはとくに厳しく注意を払い、スタッフの資質向上のための研修等にも積極的に取り組んでいます。また、働きやすい職場づくりを心掛け、スタッフの信頼関係とチームワークによって、利用者が住み慣れた家でできるだけ自立した生活を継続できるよう支援しています。



高知県庁生協介護福祉センターのスタッフ一同

地域の人憩いの場となっていくことを目指して

高知県高齢者福祉生活協同組合

高知県高齢者福祉生協（ふくし生協）は、2011年5月に「憩のひろば しばてんハウス朝倉」を開所しました。この施設には、ふくし生協の朝倉地域福祉事業所と朝倉支部事務所が併設され、デイサービス事業を中心に、地域の人憩いの場となっていくことを目指しています。

支部事務所のスペースは地域の方に開放しており、自治会の行事などにも活用していただいていますし、また、夏祭りには、地域の方たちが大勢参加して、生協組合員やデイサービスの利用者と一緒に流しそうめんなどを楽しみました。学校帰りの子どもたちが入ってきて宿題をしたり、お年寄りたちと一緒に過ごしていくこともあります。その子どもたちから話を聞いて、次は家族の方が立ち寄ってお茶を飲んでいく、というふうに、憩いの場としての使われ方が少しずつ広がっています。

ふくし生協のスローガンは「寝たきりにならない、しない！元氣な高齢者がもっと元氣に」です。敬老

会では、92歳のデイサービス利用者の方が主体となって職員と一緒にちらしずしを作ってくれました。生協組合員にはわらじ作りの名人もいますし、教員経験者もいます。お年寄りの方は、たくさんの知恵や経験をお持ちです。それらを引き出して、お年寄り子どもたちが一緒に出来る場面を作り、高齢者が主人公となって世代間交流の場を作りたいと考えています。年末には餅つきを、夏休みには子ども教室ができるのでは、などと夢が膨らんでいます。



「憩のひろば しばてんハウス朝倉」

大学・地域の中で力を合わせて学生をはぐくむ

高知大学生協同組合

高知大学生協のグランドコンセプトは「もっと・協♥育」です。大学生協は、組合員である学生・大学教職員が、出資金を出し合い、運営に参加し、利用するものです。「協」、すなわち強く力を合わせることで大学生協にしか実現できない活動を行っていきたくと考えます。また、大学生協の大きな役割は「はぐくみ」にあると考えます。大学・地域社会と協力しながら、心・知・体・食・生と、さまざまな「育」のプログラムを充実させ、学生の学びと成長を側面から支援するとともに、「自分育て」の場を提供するなどして、大学・地域の中で学生をはぐくみ、ともに成長していきます。

そのひとつとして大学生の食育にも取り組んでいます。食堂のプライスカードとレシートには料理の品名、価格のほか、塩分量、エネルギー量、栄養表示をしていて、バランスのとれた食生活の提案をしています。また、ミールカード利用者のうち希望者には利用履歴を送付しており、その1枚1枚に生協職員が食事の取り方のアドバイスなどのメッセージを手書きしています。

大学生協のグランドコンセプトに終点はありません。

「大学・地域・学生・生協がともに力を合わせて魅力ある人をはぐくみ地域社会に還元していく」それは終わることのない、大学生協の使命です。今よりも、もっとより良い明日を目指して常に前進し続けていきます。

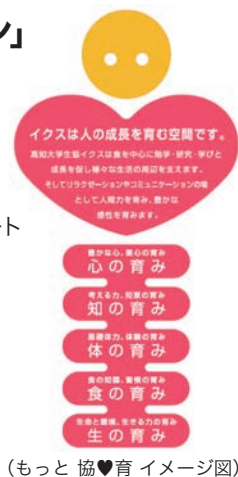
育コミュニケーション・イクス

IKUS

2009年に新しくなった
高知大学学生会館・IKUSの基本コンセプト

はぐくむ
「育コミュニケーション」
いく

- ①食生活を支え・育む
 - カフェテリア
 - ベーカリーカフェ
- ②勉強研究を支え・育む
 - 教科書販売
 - パソコンサポート
- ③学びと成長を支え・育む
 - 公務員教員講座
 - キャリアサポート
- ④日常生活を支え・育む
 - ショップ
 - キャンパスコンビニエンス
- ⑤住生活を支え・育む
 - 住生活支援



生協のネットワークによる災害支援と災害対策

高知県生活協同組合連合会

1995年11月に発生した阪神淡路大震災以来、全国の生協で行政との協力体制が整備されてきています。高知県生協連も、1998年12月に高知県との間で「災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定書」を締結しました。この協定の中では、大規模災害が発生した時、生協連と県内の会員生協が高知県と協力して、緊急物資の調達や被災地での移送、被災者のニーズ等の地域の情報の収集やボランティア活動の支援などを進めることが定められています。

高知県生協連は、中四国地区の生協による大規模災害対策連絡会にも参加し、各県の生協や行政による防災・減災の取り組みを交流するとともに、毎年、大規模な災害が発生したことを想定した図上演習を行っています。2009年に高知県で南海大地震を想定した図上演習を実施したのを皮切りに、その後、毎年1回、中四国内で県を変えて図上演習を続けています。演習では、それぞれの地域で想定される被害想定に基づいて、被災地の生協が被災者支援や事業継続のために求められる活動や、被害のなかった地

域の生協による被災地支援活動などの訓練を行います。このような図上演習は各地の生協でも取り組まれており、2011年3月に発生した東日本大震災では、全国の生協のネットワークによる物的・人的両面での組織的支援が高く評価されました。



1998年高知県との災害時物資供給協定の調印



中四国の生協で行っている災害対応図上演習



生協とは

生活協同組合（生協）は、「消費生活協同組合法」（生協法）に基づいて設立される法人です。生協法では「この法律は、国民の自発的な生活協同組織の発達を図り、もって国民生活の安定と生活文化の向上を期することを目的とする」と定められており、力を

合わせて生活をよりよいものにしていきたいと思う人が自発的に加入している組織です。ICA（国際協同組合連盟）が1995年に決定した協同組合原則に基づいて運営しています。

生協の目的と運営

生協は暮らしの協同のための組織ですので、運営や事業も一般的な会社とは異なっています。まず、組織運営の面では、議決権です。生協では総会（総代会）で組合員の議決権が行使されますが、1株について1票の議決権が配分される株式会社とは異なり、出資金の額に関係なく、1人1票の議決権を持ちます。また、事業についての考え方も異なります。

組合員は生協の事業を利用することで自分の生活をより良いものにするために、生協に加入します。生協の事業は暮らしのための協同そのものです。したがって、事業から生まれる利益も、それぞれのものが目的ではなく、生まれた利益によって組合員の暮らしをより良いものにしていくことが目的となります。

高知県内の会員生協の概況

組合員数、事業高は各生協の近直の事業年度のものです。

種類	生協名	組合員数 (人)	総事業高 (千円)	所在地 ホームページ	電話 ファックス
地域生協	こうち生活協同組合	87,114	9,821,299	高知市薊野中町16番8号 http://www.kochicoop.or.jp/	TEL (088) 826-5211 FAX (088) 826-5252
	生活協同組合 コープ自然派こうち	5,187	644,424	南国市篠原190-3 http://www.shizenha.ne.jp/kochi/	TEL (088) 804-6705 FAX (088) 804-6706
職域生協	高知県庁 消費生活協同組合	7,736	252,658	高知市丸ノ内1-2-20 http://www.kkcoop.or.jp/	TEL (088) 823-9050 FAX (088) 872-2165
	セイレイ高知 消費生活協同組合	311	73,179	南国市里改田203	TEL (088) 865-2213 FAX (088) 865-1919
	ミロク 消費生活協同組合	208	25,686	南国市篠原537-1	TEL (088) 863-3068 FAX (088) 863-3068
大学生協	高知大学 生活協同組合	5,836	839,641	高知市曙町2-5-1 http://omise.seikyoku.jp/kochi-univcoop/	TEL (088) 844-1501 FAX (088) 840-8209
	高知県立大学 生活協同組合	1,200	155,415	高知市永国寺5-15 http://ha1.seikyoku.ne.jp/home/kochi-pu/	TEL (088) 872-9572 FAX (088) 872-1014
	高知工科大学 生活協同組合	(2011年12月現在認可申請中)		香美市土佐山田町宮ノ口185	—
学校生協	高知県学校 生活協同組合	12,137	545,330	高知市薊野南町20-13 http://www.kochi-gakuseikyo.com/	TEL (088) 846-4124 FAX (088) 845-1981
医療生協	高知医療 生活協同組合	53,430	2,348,221	高知市口細山206-9 http://www.kochi-hco-op.or.jp/	TEL (088) 843-0025 FAX (088) 840-0649
共済生協	高知県労働者共済 生活協同組合	89,101	21,701	高知市本町4-1-32 高知勤労センタービル内 http://www.zenrosai.coop/zenkoku/kouchi/kouchi.php	TEL (088) 823-6031 FAX (088) 823-1543
福祉生協	高知県高齢者福祉 生活協同組合	1,647	123,473	高知市河ノ瀬30-1 サンアースビル2F	TEL (088) 832-4960 FAX (088) 832-4912